

授業概要

教養教育「日本文学」

現存する日本最古の和歌集である『万葉集』は世界に誇るべき文化遺産である。それは日本文学の原点であり、日本人の心のふるさとである。そのなかに万葉最大の歌人大伴家持の越中守時代の歌記録が大きな位置を占め、それは「越中万葉」と呼ばれている。そこで、まず『万葉集』の概説と『万葉集』を理解するための時代背景を講義したあと、「越中万葉」を年ごとに順にたどりながら、代表的な歌などを取り上げて深く読みこんでいく。この講義を通して『万葉集』のすばらしさを知り、それを通して古代の越中の姿を理解してもらいたいと考えている。

専門教育科目「日本文学特殊講義」

『万葉集』のなかでも輝かしい存在である「越中万葉」に着目し、担当者それぞれの専門を生かして、「越中万葉」の歴史的背景、歌の場、代表的な秀歌の特色など、さまざまな視点から読み解くことによって古代日本人の生と心を知ってもらい、そこから、『万葉集』を通して日本語のすばらしさを知り、古代の越中の姿をより深く知ってもらいたいと考えている。

富山大学芸術文化学部との大学連携事業について

連携事業テーマ「林忠正と文化・産業の振興」		
	研究テーマ	概要
1	林忠正と文化・産業振興の研究	幕末から明治期にかけて、欧米で高岡銅器をはじめとした日本の美術・工芸品が受け入れられた背景やその及ぼした影響を研究するとともに、当時フランスで活躍した「林忠正」のマネージメント手法を明らかにし、銅器や漆器など高岡の伝統工芸産業の活性化につなげるための研究。
2	高岡クラフトコンペの次世代ビジョンの創出	高岡クラフトコンペが果たしてきた20年間の成果と役割を主にマーケティング分野から調査分析、また日本や海外で行われているクラフトコンペの実態を比較調査し、コンペから商品化への仕掛けを考え、伝統産業の現代的振興につなげるための研究。
3	文化財修理と人材育成システムの研究	高岡のもつ文化財や美術・工芸品の修理を通して、伝統工芸技術・技能の継承と人材育成システム構築のための研究。
4	新商品開発の研究・提案	高岡のもつ銅やアルミなどのクラフト素材の調査と高岡のもつ伝統工芸技術・技能を調査し、それらを活かした新商品を開発し、実際に市場販売調査を実施するなど「市場研究に基づく高岡発の新商品・販売戦略」の研究。
5	アート・デザインマインドの醸成の研究	行政の文書や案内看板などで、文字だけでは市民に伝わらないことがアートやデザインを加えることによって、より分かりやすいものとなるなどアート・デザインの価値に理解力のある行政によって、地域のアート・デザイン文化の振興を図るための研究。